

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【公表番号】特表 2008-544337 (P2008-544337A)

【公表日】平成 20 年 12 月 4 日 (2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報 2008-048

【出願番号】特願 2008-507729 (P2008-507729)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

G 0 6 F 11/28 (2006.01)

H 0 1 L 21/82 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/50 6 6 4 P

G 0 6 F 17/50 6 7 2 Z

G 0 6 F 11/28 3 4 0 C

H 0 1 L 21/82 T

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 8 日 (2009.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回路の表現をコンパイルする段階と、
 トリガのために 1 つ又はそれ以上の信号を選択する段階と、
 トリガロジックを前記回路に挿入する段階と、
 複製のために前記回路の表現の一部分を選択する段階と、
 前記回路の選択部分を複製する段階と、
 遅延ロジックを挿入して、前記回路の複製部分への入力を遅延させる段階と、
 前記回路の表現を再コンパイルする段階と、
 前記トリガ信号の 1 つ又はそれ以上を選択する段階と、
 選択された各トリガ信号の 1 つ又はそれ以上の状態を設定して、トリガ条件をセットアップする段階と、
 前記トリガ条件が発生したときに、前記回路の複製部分における 1 つ又はそれ以上のレジスタの 1 つ又はそれ以上の状態と、前記トリガ条件をもたらしたステップのシーケンスとを記録する段階と、
 を含む方法。

【請求項 2】

複数のロジック要素と、
 前記ロジック要素の 1 つ又はそれ以上の複製と、
 前記回路の複製部分への入力を遅延させるために、前記回路の複製部分に結合された遅延ロジックと、
 トリガ条件のセットアップを可能にするために前記回路の複製部分に結合されたトリガロジックと、
 前記トリガ条件が発生したときに前記回路の複製部分の実行を一時停止することができるよう、前記回路の複製部分に結合されたクロック制御ロジックと、

を備える集積回路。

【請求項 3】

マシンによってアクセスされるときに、

回路の表現をコンパイルする段階と、

トリガのために 1 つ又はそれ以上の信号を選択する段階と、

トリガロジックを前記回路に挿入する段階と、

複製のために前記回路の表現の一部分を選択する段階と、

前記回路の選択部分を複製する段階と、

遅延ロジックを挿入して前記回路の複製部分への入力を遅延させる段階と、

前記回路の表現を再コンパイルする段階と、

前記トリガ信号の 1 つ又はそれ以上を選択する段階と、

選択された各トリガ信号の 1 つ又はそれ以上の状態を設定して、トリガ条件をセットアップする段階と、

前記トリガ条件が発生したときに、前記回路の複製部分における 1 つ又はそれ以上のレジスタの 1 つ又はそれ以上の状態と、前記トリガ条件をもたらしたステップのシーケンスとを記録する段階と、

を含む動作を前記マシンに実行させるコンテンツを含むマシンアクセス可能媒体を備えた製品。